

第二回XCIJ首都圏支部会 研究集会 報告

平成21年3月28日(土)午後1時より、第二回XCIJ首都圏支部会(XCU-MA)研究集会が東大・駒場キャンパスアドバンストリサーチラボラトリー棟4階大会議室で行われました。年度末の多忙な時期にも関わらず、今回も宮城、新潟、静岡等を含む広域首都圏各県から約60名の研究者・学生の方々に参加いただき、大盛況となりました。

研究会の冒頭、XCIJ代表の浅島先生よりご挨拶をいただき、道上による会の趣旨説明、参加PIの方々の紹介の後、演題発表へと移りました。演題数は、PIの先生方が3題、その他の研究員・学生の方が10題、合計13題と今回も多く発表をいただき、研究会の最後には平良先生より総括が行われました。発表内容は初期発生から器官形成、再生と多岐に渡り、また会の趣旨でもある未発表データ(すなわち最先端の内容)の報告も多くなされ、大変興味深いものばかりでした。そのため自ずと質問・討議も非常に多く交わされ、休憩時間を減らしたにも関わらず予定の時間を30分オーバーするほどでした。

研究会終了後は、同じ部屋で懇親会が行われました。和気あいあいとした雰囲気の中、PI・研究員・学生が入り混じって会話が弾み、会は非常に盛り上がりました。前回と同様、学生の参加費を無料にして参加を楽にすると共に、全体予算を低く抑さえ、会の運営負担を減らすことも出来ました。このような機会を作ることによって、比較的近距離の研究者がお互いの“顔”を知ることが出来、今後のラボ間での共同研究、ひいては国内におけるツメガエル研究の発展に貢献できることを期待いたします。最後に、今回の世話人をお引き受けいただいた有泉高史先生、高橋秀治先生、当日の受付等のお手伝いをいただいた浅島研究室の方々に厚く御礼申し上げます。

なお次回以降の予定ですが、今夏にPIの先生方による拡大運営委員会を開催した後、第三回XCIJ-MAの開催を早稲田大学で予定させて頂いておりますことを申し添えます。

平成21年4月13日

第二回XCIJ-MA研究集会 世話人代表

道上 達男(東京大学大学院総合文化研究科)